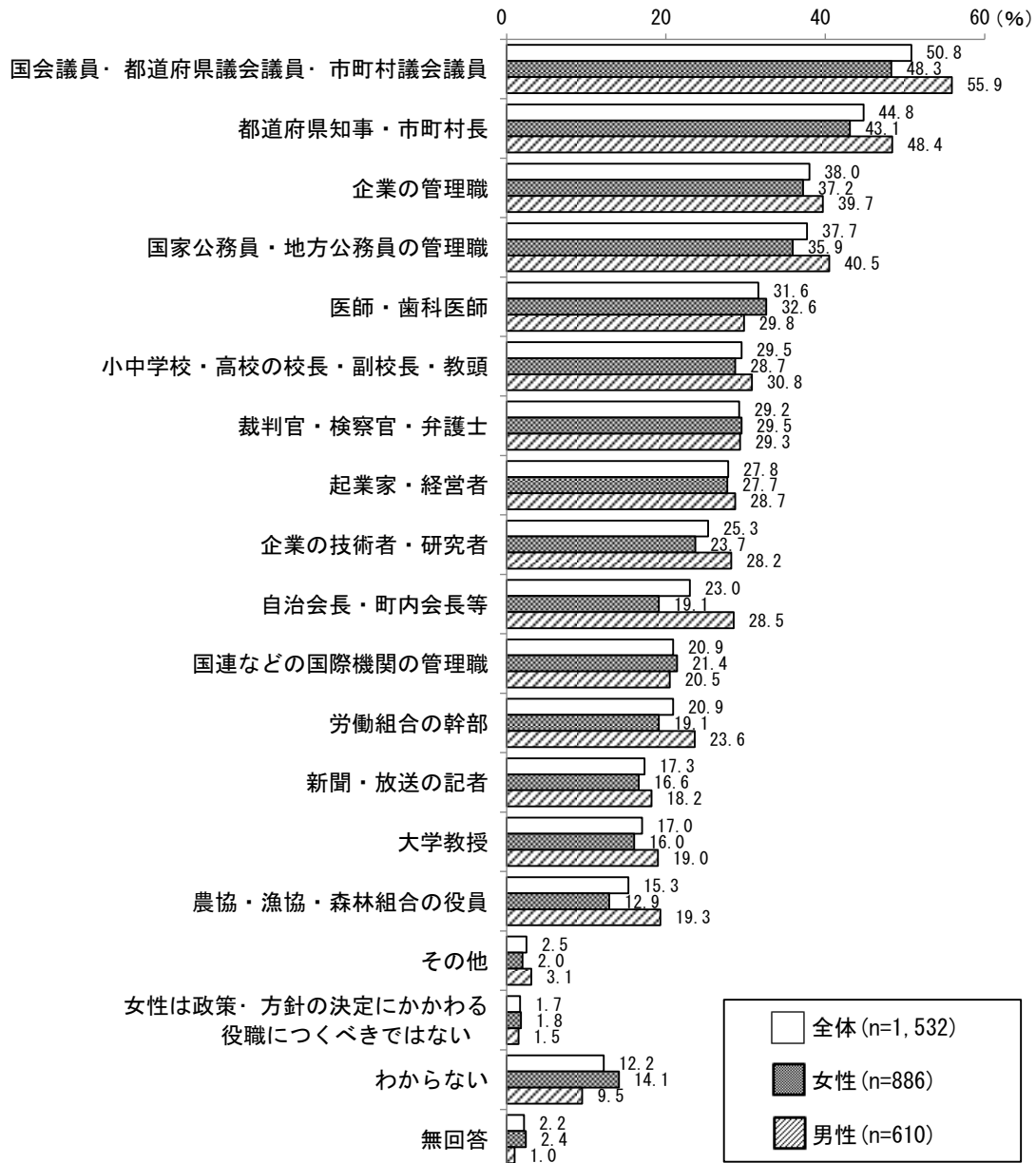


3 女性の参画について

(1) 今後女性がもっと増える方がよいと思う役職

問7 次にあげるような政策・方針の決定にかかわる役職において、今後女性がもっと増える方がよいとあなたが思うものをすべてお答えください。【○印はいくつでも】

【図表 7-1 今後女性がもっと増える方がよいと思う役職】



◆女性が増える方がよいと思う役職は「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も高い
 今後女性がもっと増える方がよいと思う役職について、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が50.8%と最も高く、次いで「都道府県知事・市町村長」（44.8%）、「企業の管理職」（38.0%）などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も高くなっており、男性（55.9%）が女性（48.3%）を7.6ポイント上回っている。

<性・年齢別>

男女ともにすべての年代で「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が上位に入っている。次いで「都道府県知事・市町村長」、「企業の管理職」などが上位に入っている。

【図表 7-2 今後女性が増える方がよいと思う役職（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	医師・歯科医師	42.9	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員 国家公務員・地方公務員の管理職 裁判官・検察官・弁護士	35.7	都道府県知事・市町村長	28.6
	20代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	64.3	都道府県知事・市町村長	62.5	企業の管理職	41.1
	30代	企業の管理職	41.6	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	39.3	医師・歯科医師	37.1
	40代	企業の管理職	53.4	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	50.0	都道府県知事・市町村長	49.3
	50代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	48.7	都道府県知事・市町村長	42.9	企業の管理職	34.4
	60歳以上	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	47.9	都道府県知事・市町村長	40.8	国家公務員・地方公務員の管理職	38.2
男性	20歳未満	企業の管理職	40.0	都道府県知事・市町村長 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員 国家公務員・地方公務員の管理職 わからない	26.7	国家公務員・地方公務員の管理職 小中学校・高校の校長・副校長・教頭 起業家・経営者	20.0
	20代	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	51.3	都道府県知事・市町村長	46.2	国家公務員・地方公務員の管理職	43.6
	30代	都道府県知事・市町村長	60.0	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	58.0	企業の管理職	54.0
	40代	都道府県知事・市町村長	55.7	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	48.9	企業の管理職	40.9
	50代	都道府県知事・市町村長 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	47.9	企業の管理職	42.6	起業家・経営者	27.7
	60歳以上	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	61.7	国家公務員・地方公務員の管理職	48.1	都道府県知事・市町村長	46.0

<地域別>

すべての地域で、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」は5割程度で最も高くなっている。

【図表 7-3 今後女性が増える方がよいと思う役職（地域別）】

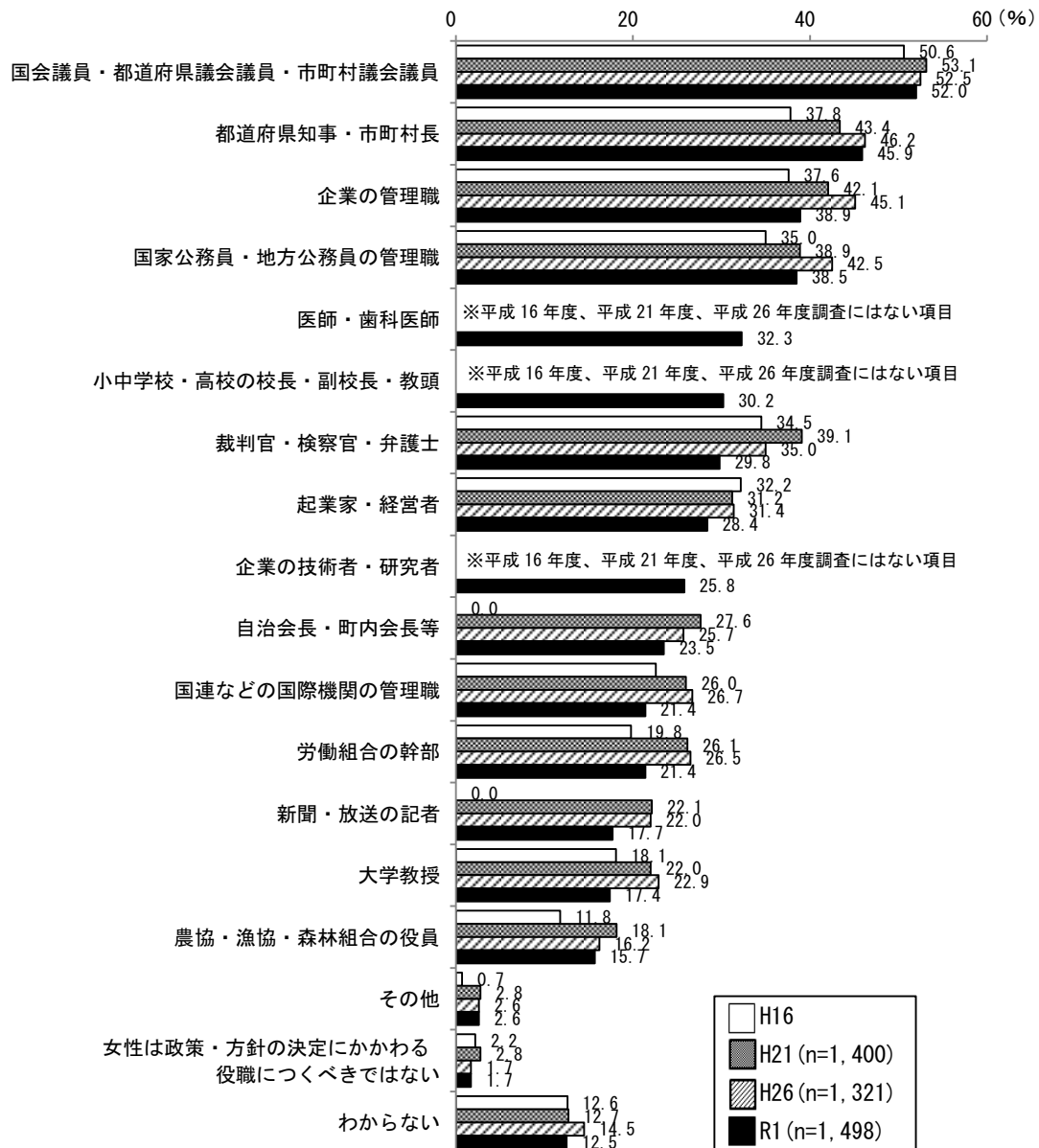
(単位:%)

備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内		
1位	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	52.0	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	50.0	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	51.9
2位	都道府県知事・市町村長	45.7	都道府県知事・市町村長	44.2	都道府県知事・市町村長	43.7
3位	国家公務員・地方公務員の管理職	38.5	企業の管理職	38.2	企業の管理職	38.3

<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、H16年調査から今回調査にかけて、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も高く、次いで「都道府県知事・市町村長」、「企業の管理職」などの順となっている。

【図表 7-4 今後女性がもっと増える方がよいと思う役職（過去の調査との比較）】

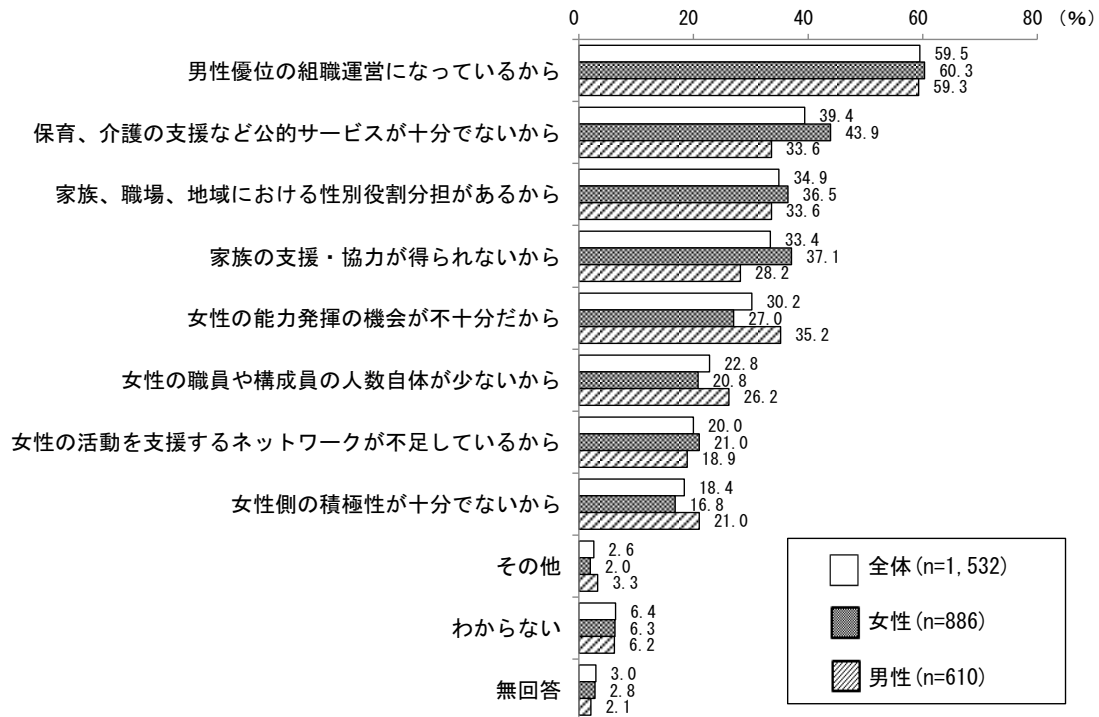


※数値を比較するため、無回答を除いて集計しています。

(2) 政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由

問8 あなたは、問7にあげたような政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由は何だとお考えですか。【○印はいくつでも】

【図表 8-1 政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由】



◆「男性優位の組織運営になっているから」が6割前後

政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由について、「男性優位の組織運営になっているから」が59.5%と最も高く、次いで「保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから」(39.4%)、「家族、職場、地域における性別役割分担があるから」(34.9%)などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「男性優位の組織運営になっているから」が最も高くなっている。女性は、「保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから」が43.9%となり、男性(33.6%)を10.3ポイント上回っている。

<性・年齢別>

男女ともに、すべての年代で「男性優位の組織運営になっているから」が最も高くなっている。また、女性は40代を除くすべての年代で「保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから」が上位に入っており、男性は20歳未満、60歳以上を除くすべての年代で「家族、職場、地域における性別役割分担があるから」が上位に入っている。

【図表 8-2 政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	男性優位の組織運営になっているから	59.5	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	39.4	家族の支援・協力が得られないから	34.9
	20代	男性優位の組織運営になっているから	62.3	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	38.3	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	40.3
	30代	男性優位の組織運営になっているから	52.8	家族、職場、地域における性別役割分担があるから 保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから			41.6
	40代	男性優位の組織運営になっているから	63.7	家族の支援・協力が得られないから	46.6	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	45.9
	50代	男性優位の組織運営になっているから	62.3	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	40.3	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	38.3
	60歳以上	男性優位の組織運営になっているから	60.1	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	47.6	家族の支援・協力が得られないから	39.2
男性	20歳未満	男性優位の組織運営になっているから	53.3	家族の支援・協力が得られないから 保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから			26.7
	20代	男性優位の組織運営になっているから	69.2	家族、職場、地域における性別役割分担があるから 保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから			35.9
	30代	男性優位の組織運営になっているから	70.0	家族、職場、地域における性別役割分担があるから 保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから			36.0
	40代	男性優位の組織運営になっているから	51.1	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	38.6	家族の支援・協力が得られないから	31.8
	50代	男性優位の組織運営になっているから	58.5	女性の能力発揮の機会が不十分だから	37.2	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	29.8
	60歳以上	男性優位の組織運営になっているから	59.3	女性の能力発揮の機会が不十分だから	40.1	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	37.0

<地域別>

すべての地域で、「男性優位の組織運営になっているから」が最も高く、次いで「保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから」の順となっている。

【図表 8-3 政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由（地域別）】

(単位: %)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	男性優位の組織運営になっているから	59.2	男性優位の組織運営になっているから	58.6	男性優位の組織運営になっているから	64.5
2位	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	39.3	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	40.3	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	37.2
3位	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	36.7	家族の支援・協力が得られないから	33.8	女性の能力発揮の機会が不十分だから	36.6

<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、H16年調査から今回調査にかけて、「男性優位の組織運営になっているから」が最も高くなっている。過去の調査では上位に入っていない「保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから」は今回調査では2位だった。「家族、職場、地域における性別役割分担があるから」は、前回2位から3位に下がっている。

【図表 8-4 政策・方針の決定にかかわる役職に女性があまり進出していない理由（過去の調査との比較）】

(単位: %)

	R1年		H26年		H21年		H16年	
1位	男性優位の組織運営になっているから	59.5	男性優位の組織運営になっているから	59.3	男性優位の組織運営になっているから	58.3	男性優位の組織運営になっているから	56.4
2位	保育、介護の支援など公的サービスが十分でないから	39.4	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	38.9	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	41.3	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	38.7
3位	家族、職場、地域における性別役割分担があるから	34.9	家族の支援・協力が得られないから	33.3	家族の支援・協力が得られないから	39.5	家族の支援・協力が得られないから	35.6